

目的・目標・方法

イヴァ・ロイド ND
エイミー・スチール ND PhD
ジョン・ウォードル ND PhD

この医療技術評価（HTA）報告書は、以下の内容を含んでいます。自然療法は、エビデンスに基づく治療法を提供するために開発されました。自然療法の実践と安全性、経済性、有効性をまとめたものです。適用範囲 このHTAの情報は、以下の研究によってもたらされたものです。国際的な自然療法学会が過去に開催した30年間

目的

このHTAの目的は、データおよび研究を提供することである。エビデンスに基づく意思決定を行うために必要な自然療法士を現代の医療制度に組み込むことは、自然療法士の能力を反映したものである。非伝染性疾患などの世界的な疾病の負担を軽減する。私たちは、このHTAを次のように考えています。

自然療法専門職の適切かつ強固な規制の世界的な実施を支援し、自然療法士/自然療法医に見合ったものであること。プライマリーケアヘルスサービスを提供する役割を担っています。

目標

本HTAの目標は、記述することである。

1. 自然療法士の国際的な状況 職業

- 自然療法はどの程度普及しているのか？ 自然療法医学は世界的にどうなのか？
- 自然療法の基礎となるものは何か？ 練習は？
- 教育水準はどのようになっていますか？ 自然療法はどのようなものですか？
- 自然療法にはどのような規制があるか？ 職業は？

2. 自然療法の安全性とリスクについて ケア

- どのような副作用や合併症が起こりうるかに関連する、またはこれまでに観察された自然療法の実践
- 自然療法を行う上で、どのような安全対策が必要ですか？

3. 自然療法・自然治療法の経済性は？ 医学

- 経済的な配慮はどのようなものですか？ 自然療法を評価するか？
- 自然療法ケアの費用対効果は？

- 自然療法の実践と研究に影響を与える経済的要因とは？

4. 自然療法・自然健康法の実施と実践について 自然療法医学は、現実の環境と医療システム

- 自然療法・ナチュロパシー医学は、一般市民にどの程度普及しているか？
- 自然療法へのアクセスや公平性は？ 医療サービス
- 自然療法士/自然療法医はどのような役割を担っているか？ 健康増進や地域社会で活躍する 教育

5. 自然療法専門職の貢献度 知識創造

- 自然療法士はどのような種類の、どのような量の科学論文を公表していますか？ 研究者
- 自然療法研究の範囲、幅、質はどのようなものか？

6. 自然療法のエビデンスベース研究 実践

- 自然療法士/自然療法医がよく治療する疾患は何ですか？
- 臨床試験の量と結果は？ 効果・効能を検証する研究 自然療法の治療法、実践、そして治療法を教えてください。
- 自然療法の治療と実践はどのように行われているか？ 臨床研究において、どのような研究が行われていますか？

環境

WNFは5年間にわたり、このHTAに情報を提供するために不可欠な基礎作業を行った。この間、WNFは自然療法団体、自然療法教育プログラム、自然療法士、自然療法医を含む7つの国際調査を実施し、適切かつ公平な代表性を確保した。自然療法は、世界的に見ても幅広く、複雑なものです（図参照）。実施した調査の概要は以下の通りです。2015: 世界の自然療法士を対象とした初の国際調査を実施し、各国の自然療法診療の特徴を概説した。回答は世界保健機関（WHO）加盟の22の自然療法団体から回答を得ました。（WHO）のリージョン[1]。2016: を検討する詳細な国際調査 自然療法教育、規制、実践の枠組みの特徴を把握するために開始されました。この調査65の自然療法団体から回答がありました。（教育機関、専門家団体、規制機関）、29カ国。このデータ収集調査は2020年に終了しました[2, 3]。2016: 国際的な自然療法教育 機関を調査した。30件の回答があった。WHOの5つの地域、17カ国にまたがり 自然療法教育プログラムで教えられている内容を概説している[4]。2016: 実施された研究の書誌学的分析 自然療法の専門家によって、以下のように実施されました。2016年から2018年まで この国際自然療法研究連合プロジェクトの結果、2200件以上の自然療法研究論文の根拠となったも

目的・目標・方法

のは、このHTAのかかなりの部分を占めています[5]。

2019年：国際的な診療アンケートを実施 診療行為、健康状態、治療法を確認するために 自然療法士/自然療法医が使用するモダリティ。

この調査は、14のフルWNFから会員に送られた。の会員（全国自然療法団体）です。自然療法診療の歴史が確立されており、その中には 859人の自然療法患者の訪問から得られたフィードバック [6, 7]。

2019年：国際的な調査を実施し、自然療法教育機関がどの程度を通じて、恵まれない人々、低所得者、または専門的なグループに対して、無料または低料金の自然療法を提供しています。自然療法コミュニティクリニック[8]。

2019年：世界中の自然療法教育機関が提供するプログラム内容を詳細に分析した結果

を開始し、2021年に完了しました。この分析により、131の自然療法教育プログラム WHOの5つの地域にわたって位置

する[9]。

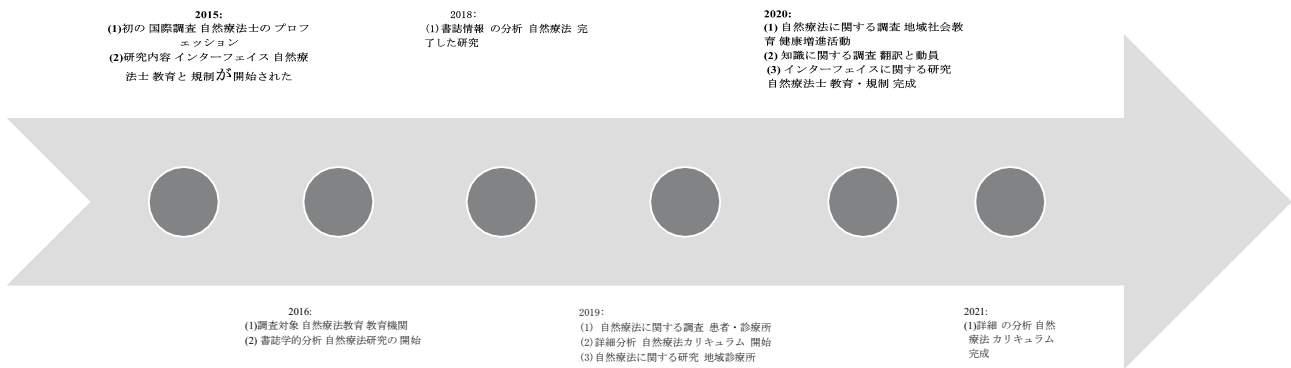
2020: 自然療法士/自然療法医を対象とした国際的な調査を実施し、その程度を明らかにした。自然療法の臨床医が、医療従事者と関わり、教育すること。

様々な地域教育や健康づくりを通じて プロモーション活動 このアンケートは5つの言語に翻訳されています。800人以上から回答がありました。

自然療法士/自然療法医が、WHOの全地域にまたがる 地域 [10]。

2020: 詳細な知識動員調査が行われた 5ヶ国語に翻訳され、国際的に共有された結果、500人以上の自然療法士/看護師から回答がありました。世界各国の自然療法医が参加しています。

この調査 自然療法臨床家の共有化に対する取り組みを調査しました。自然療法の実践に関連する知識や情報を活用することができます[11]。



図i: WNFが医療技術評価に向けて実施した国際研究のタイムライン アセスメント

アスタナ宣言

2018年、世界の保健医療界は一堂に会しました プライマリーヘルスケアに関する世界会議を開催し 1978年のアルマアタ宣言の文脈で見直す。WHOの「持続可能な開発目標」の

イバ・ロイド博士 (ND) とジョン・ウォードル教授の両名は の代表として、このイベントに貢献するよう招かれました。WNFの成果である。アスタナ宣言[12]。その目的は ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成と WHOの持続可能な開発目標である 宣言は、以下のような首脳のコミットメントを表しています。

国家、政府、大臣、代表者 を促進するために、国や政府のヘルス・フォー・オール政策アプローチ、持続可能な プライマリーヘルスケア、個人と個人のエンパワーメント への利害関係者の支援を調整します。国の政策、戦略、計画 成功の秘訣 プライマリーヘルスケアは、以下のように決定されています。知識・能力開発、人材 健康資源、技術、そして資金。

この宣言は、自然療法の専門家を含むプライマリーヘルスケアのすべての分野の焦点と活動を導く極めて重要な文書であり、特に多くの勧告（例えば、予防の重視、人間中心のケア、教育

自己責任と健康的なライフスタイル）は、自然療法に合致している。このHTAは、アスタナ宣言のプライマリーケアに関する重要な世界的ビジョンの中で検討されるべきものである。

アスタナ宣言の全詳細はこちらからご覧いただけます：<https://www.who.int/docs/default-source/primary-health/declaration/gcphc-declaration.pdf>。

リソース

HTAは主にNaturopathsから資金提供を受けています。とオーストラリアハーバリスト協会 (NHAA) の正会員である。WNFのメンバーであり、WNF自身によるものである。

マテリアルと方法

HTAの範囲は2017年に概説され、世界自然療法連盟研究委員会によって承認され、このHTAの基礎作業として、世界の自然療法専門職の5年間の詳細な分析が行われました。

プロトコル

このHTAのプロトコルは、WHOのHTAガイドライン[13]に従って構成され、自然療法とその実践に特有の文脈と特徴を考慮しながら、既に発表されたHTA[14-16]に基づいている。

「ナチュロパシー」の定義について HTA報告書

本HTA報告書では、自然療法は、伝統的な哲学と実践の深い歴史を持ち、医学的訓練を受けた施術者が、人を中心とした医療の提供において、幅広い自然治療

の様式と実践を活用する医療システムであると定義している[17]。自然療法という用語は、自然療法と自然医学の両方を含む。

自然療法の基礎的基盤には、「バイタリズム」と「ホリズム」の哲学があり、自然療法実践の指導原則は以下の通りである。

- 自然の治癒力 (vis medicatrix naturae)
- 全人格を診る (tolle totum)
- 原因を治療する (tolle causam)
- 第一に、害を及ぼさないこと (primum non nocere)
- 教師としての自然療法医 (docere)
- 健康増進と疾病予防
- ウェルネス

自然療法は、多面的なアプローチで治療を行うことで知られています。自然療法士と自然療法医が行う治療法は、ある程度異なります。自然療法/ナチュロパシー医学の強みは、それが統合されたシステムであることである。そのため、それぞれの管轄区域では、地域の伝統的な医療慣習やその地域の教育・規制のレベルに基づいて、治療法が取り入れられている。自然療法に統合された他の治療法には、針療法、および静脈注射療法、医薬品の処方権、再生注射療法、小手術などの追加教育に関連した治療法がある（詳細は第1章自然療法診療を参照）。

文献検索と文献の選択

本HTAの参考となる文献は、以下のものから抽出した。自然療法研究の広範な計量書誌学的分析 [5] 16 章で詳しく説明した。引用文献の全リスト

計量書誌学的調査によって特定されたものを、以下のように分割した。をトピックエリアに分類し、各コーディングに割り当てた。の原稿は、計量書誌学的分析において

計量書誌学的分析の結果は、以下のように分けられる。は、HTA のために 2 つのセクションに分かれています。最初のセクションは 5 : 自然療法臨床の有効性

を説明する証拠の要約です。自然療法の研究によってサポートされているものには、がんがあります。循環器系疾患、複合免疫系疾患

内分泌疾患、胃腸疾患、精神疾患、泌尿器科疾患など、様々な疾患があります。健康状態、筋骨格系の状態、神経系の状態。女性の健康、皮膚疾患などです。第2章：第6節 自然療法における研究 治療法と実践 - 臨床成果を紹介します。自然療法による治療法および 複雑な自然療法的介入を含む実践。応用栄養学、臨床栄養学、漢方薬。ライフスタイルとエクササイズ、ボディワーク、心身医学 カウンセリング、ハイドロセラピー、鍼灸、ヨガ、そして 医薬品 各章のトピックエリアは 編集部では、その数の多さを考慮し、「この人なら」と思う人を選びました。論文数、頻度 を使用した、または使用したと報告された疾患です。自然療法士が治療しています。

WHO の 6 カ国、10 カ国から合計 51 名の著者が参

加した。文献レビューおよびこのHTAの章を執筆した。著者は各章は主に自然療法研究者が担当しました。または研究活動中の自然療法士/自然療法医

また、多くの場合、自然療法士に所属しています。教育機関 すべての章の著者は自然療法研究者が中心となっていますが、自然療法研究者以外の著者もいます。

編集チームが報告書全体の完成度を高めるために価値があると判断した場合には、他の分野の専門的な知識や技能を提供するよう依頼した。各章を担当する著者には、そのテーマに関連する引用文献の全リストが提供され、その後、引用文献をフィルタリングして、オリジナルの報告でない原稿を除外した。

また、自然療法研究者による調査研究、質的研究、その他の非臨床研究をまとめるために、観察研究の分析も行った。この条件を満たす原稿は、2つのグループ分けに基づく計量書誌学的分析によって特定された。(1)健康状態、(2)治療または処置。各グループの記述統計量を分析し、報告した。健康状態グループについては、対象論文の中で最も一般的な2つの健康状態を特定し、その内容に応じて主題別に分類した。治療法群については、最も普及している2つの治療法を取り上げ、その内容に応じてテーマ別に分類した。自然療法の研究者が発表したレビューやメタアナリシスも同様に、この方法に従って検討した。

データ抽出と結果の提示

各テーマについて、関連するすべての論文からデータを抽出し、表形式にまとめた。その後、各章の著者が全体の要約を文書で発表した。

また、収録された論文の特徴は以下の通りである。第5節「自然療法臨床実践の効果」で紹介する要約文は、以下の臨床結果に焦点を当てたものである。

は、自然療法による介入を研究した。セクション 6: 自然療法治療と実践の研究 (Research in Naturopathic Therapeutics and Practices) に含まれるトピックについては、その要約は具体的な内容に焦点を当てた。

そのカテゴリーで使用される治療法の種類、その適用、治療に使用される症状のバリエーションについて詳しく説明した。

このため、各章の表には、関連する論文の概要を示しながら、選択した研究の概要を紹介した。

レビュー

各テーマについて、段階的な査読プロセスを採用した。第一段階の査読は、編集チームの少なくとも2名のメンバーが行い、プロジェクトの品質、方法論、形式の要件への準拠について、著者にフィードバックを行いました。WNF研究委員会のメンバーが第2段階のレビューを行い、編集チームによるチェックを受けた後、内容の一貫性と正確さに焦点を当てながら、さらなる編集と改良のために著者に提供された。その後、編集チームによる最終レビューが行われ、内容の一貫性と正確さがチェックされた。すべての最終版は、出版前に著者と編集者によって承認された。

引用文献

1. World Naturopathic Federation. *World Naturopathic Federation Report. Findings from the 1st World Naturopathic Federation survey*. 2015; Available from: http://worldnaturopathicfederation.org/wp-content/uploads/2015/12/World-Federation-Report_June2015.pdf.
2. Dunn, J., et al., *Characteristics of global naturopathic education, regulation, and practice frameworks: results from an international survey*. BMC complementary medicine and therapies, 2021. **21**(1): p. 1-19.
3. World Naturopathic Federation. *Global Naturopathic Regulation*. 2018; Available from: http://worldnaturopathicfederation.org/wp-content/uploads/2019/11/Global-Naturopathic-Regulation_Nov-2019.pdf.
4. World Naturopathic Federation Roots Committee. *WNF – Naturopathic Roots Report*. 2016; Available from: http://worldnaturopathicfederation.org/wp-content/uploads/2015/12/Naturopathic-Roots_final-1.pdf.
5. Steel, A., et al., *Knowledge Dissemination by the Naturopathic Profession: A Bibliometric Analysis of Naturopath-Authored, Peer-Reviewed Publications*. Journal of Alternative and Complementary Medicine, 2021.
6. Steel, A., et al., *Overview of international naturopathic practice and patient characteristics: results from a cross-sectional study in 14 countries*. BMC Complementary Medicine and Therapies, 2020. **20**(1): p. 59.
7. Steel, A., et al., *Integrative physiology and traditional naturopathic practice: Results of an international observational study*. Integrative Medicine Research, 2020. **9**(4): p. 100424.
8. Lloyd I, Gerontakos S, and Cardozo V, *Global naturopathic community clinic reach: an international cross-sectional survey*. BMC Health Services Research, 2021.
9. World Naturopathic Federation Education Committee. *WNF Naturopathic Educational Program Report*. 2021; Available from: http://worldnaturopathicfederation.org/wp-content/uploads/2021/03/WNF_Naturopathic-Programs_final_March_2021.pdf.
10. Steel, A. and I. Lloyd, *Community education and health promotion activities of naturopathic practitioners: results of an international cross-sectional survey*. BMC Complementary Medicine and Therapies, 2021.
11. Steel, A., et al., *Naturopaths' mobilization of knowledge and information in clinical practice: an international cross-sectional survey*. BMC Complementary Medicine and Therapies, 2021.
12. World Health Organization and the United Nations Children's Fund (UNICEF). *Global Conference on Primary Health Care Declaration of Astana*. 2018; Available from: <https://www.who.int/docs/default-source/primary-health/declaration/gcphc-declaration.pdf>.
13. World Health Organization. *Health Technology Assessment*. 2021; Available from: <https://www.who.int/teams/health-product-and-policy-standards/access-to-assistive-technology-medical-devices/medical-devices/assessment>.
14. Kienle, G., H. Kiene, and H.-U. Albonico, *Anthroposophic medicine: effectiveness, utility, costs, safety*. 2006: Schattauer Verlag.
15. Bornhöft, G. and P. Matthiessen, *Homeopathy in healthcare: effectiveness, appropriateness, safety, costs*. 2011: Springer Science & Business Media.
16. Baggoley, C., *Review of the Australian Government Rebate on Natural Therapies for Private Health Insurance*, Department of Health, Editor. 2015, Australian Government.
17. World Naturopathic Federation. *Defining the Global Naturopathic Profession*. 2017; Available from: http://worldnaturopathicfederation.org/wp-content/uploads/2016/03/Defining-the-Global-Naturopathic-Profession_WNF-2017.pdf.